安全データシート

発行日 ： 2025.07.29
改訂日 ： ー

SDS番号 ： JIn-336J
版番号 ： 01

１．　化学品及び会社情報

製品名	インクタンク　ＢＪＩ－Ｐ５１４Ｍ
製品コード	6341C
供給者の会社名称	キヤノンマーケティングジャパン株式会社
住所	〒108-8011　東京都港区港南 2-16-6
担当部門	製品安全推進担当
電話番号	03-6719-9729
製造者	キヤノンファインテックニスカ株式会社 〒341-8527　埼玉県三郷市中央1丁目14番地1
推奨用途	インクジェットプリンタ用インク
使用上の制限	推奨用途に限る

２．　危険有害性の要約

GHS分類	分類されない
GHSラベル要素	
絵表示またはシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし
GHS分類に関係しない又は GHSで扱われない他の危険有害性	なし

３．　組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分　　混合物

成分

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲 (重量%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
ジオール	5 - 10	営業機密	営業機密
グリセリン	1 - 5	2-242	56-81-5
ピリジンアゾ化合物	1 - 5	営業機密	営業機密
水	60 - 80	対象外	7732-18-5

４． 応急措置

吸入した場合	症状があれば、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の助言を得ること。
皮膚に付着した場合	石鹸を使い、水でよく洗浄すること。刺激が残る場合は、医師の診察を受けること。
眼に入った場合	ほどよく温かい穏やかな流水で5分間洗浄すること。 刺激が残る場合は、医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合	水で口の中をうがいし、直ちに医師の診察を受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

吸入	通常の使用条件下での悪影響は予想されない。 ミストや蒸気に過度に暴露すると、頭痛や吐き気、めまい、嘔吐、眠気、 咳を起こす可能性がある。
皮膚	刺激性および感作性は予想されない。
眼	刺激性は予想されない。
経口	吐き気や眠気、めまい、嘔吐、腹痛、頭痛、倦怠感、下痢を起こす可能性がある。
応急措置をする者の保護及び 医師に対する特別な注意事項	特になし

５． 火災時の措置

適切な消火剤	二酸化炭素、水、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤	なし
特有の危険有害性	なし
消火活動を行う者の特別な保護具 及び予防措置	消火作業の際には必要に応じ保護具を着用する。

６． 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	眼や皮膚、衣服に付かないようにする。 取り扱い後は完全に洗浄する。
環境に対する注意事項	下水や地表水、地下水へ流出させない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	濡れた布や紙で拭き取る。

７． 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	換気のよいところで取り扱うことが望ましい。
安全取扱注意事項	眼や皮膚、衣服に付かないようにする。もし付いた場合は、速やかに洗浄すること。

保管

安全な保管条件	直射日光を避け、涼しいところに保管。子供の手の届かないところに置くこと。
安全な容器包装材料	適用外(本製品は他の容器、包装へ移し替えて保管することは意図されていない)

８． ばく露防止及び保護措置

許容濃度

製品

製品名	労働安全衛生法 管理濃度	労働安全衛生法 濃度基準値	日本産業衛生学会 許容濃度	ACGIH TLV
インクジェットプリンタ用インク	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

成分

化学名又は一般名	労働安全衛生法 管理濃度	労働安全衛生法 濃度基準値	日本産業衛生学会 許容濃度	ACGIH TLV
なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

設備対策　適切な換気を行うこと。

保護具

呼吸用保護具　不要
手の保護具　不要
眼の保護具　不要
皮膚及び身体の保護具　不要

９． 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	マゼンタ
臭い	微臭
融点・凝固点 (℃)	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲 (℃)	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃範囲	データなし
引火点 (℃)	引火点なし(推定)
自然発火点 (℃)	データなし
分解温度 (℃)	データなし
pH	7-9
動粘性率 (mm^2/s)	データなし
溶解度	
水溶性	可溶
脂溶性	データなし
n-オクタノール／水分配係数（log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.0-1.1
相対ガス密度	該当しない
粒子特性	該当しない
その他のデータ	なし

１０． 安定性及び反応性

反応性　通常の取り扱い条件においては安定であり、反応は起こらない。

化学的安定性　通常の取り扱い条件においては安定。

危険有害反応可能性	通常の取り扱い条件においては危険有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	高温、高湿度、直射日光
混触危険物質	酸、塩基、酸化剤、還元剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物

１１． 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性／刺激性	Non-irritant (OECD Guideline)
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	Non-irritant (OECD Guideline)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	Non-sensitizer (OECD Guideline)
生殖細胞変異原性	Ames試験：陰性
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし
その他の情報	なし

１２． 環境影響情報

生態毒性

魚類(*Oryzias latipes*)	LC_{50} (96 h) > 100 mg/L (OECD Guideline) (類似組成のインクにて実施)
ミジンコ(*Daphnia magna*)	EC_{50} (48 h) > 100 mg/L (OECD Guideline) (類似組成のインクにて実施)
藻類(*Lemna minor*)	EC_{50} (0-7 day) > 100 mg/L, NOEC = 100 mg/L (OECD Guideline) (類似組成のインクにて実施)

残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
他の有害影響	データなし

１３． 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

使用済みのインクカートリッジまたはインクタンクは、所定の回収窓口または回収スタンドに持ち込む。または、国の法律や地方自治体の条例に従って廃棄する。

１４． 輸送上の注意

国連番号	該当しない
品名 （国連輸送名）	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
特別な注意事項	
MARPOL 73/78付属書Ⅱ及び IBCコードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない
国内規制がある場合の規制情報	なし

１５． 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物／通知対象物	該当しない
化学物質排出把握管理促進法（化管法） 第一種／第二種指定化学物質	該当しない
毒物及び劇物取締法 毒物及び劇物	該当しない
消防法 危険物及び指定可燃物	該当しない

１６． その他の情報

参照規格
本安全データシート（SDS）は、JIS Z 7253：2019（GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS））に準じたものである。
また、GHS分類はJIS Z 7252：2019（GHSに基づく化学品の分類方法）に従っている。

本SDS項9、11および12の記載データは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果または成分のデータに基づく推定です。

引用文献
- 労働安全衛生法 管理濃度、濃度基準値
- 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- 米国 産業衛生専門家会議（ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
- 世界保健機構（WHO）国際がん研究機関（IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

略語

- 化審法: 化学物質の審査および製造等の規制に関する法律
- 安衛法: 労働安全衛生法
- 化学物質排出把握管理促進法（化管法）: 特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
- GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals （化学品の分類及び表示に関する世界調和システム）
- ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold Limit Values （米国 産業衛生専門家会議 許容濃度値）
- TWA: Time Weighted Average （時間加重平均）
- JIS: Japanese Industrial Standards （日本産業規格）

本安全データシート(SDS)の記載内容は、現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険有害性等の情報については、いかなる保証をなすものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。また、新しい知見が得られた場合には予告なくSDSを改訂することがありますのでご了承下さい。